

国語科学習指導案

指導教諭
指導者

1. 日時 平成30年6月12日(火) 第 限 時 分 ～ 時 分

2. 場所 第2学年 組 教室

3. 学年・組 第2学年 組 (男子 名 女子 名 計 名)

4. 単元名 伝え方を工夫する
教材名 「鯉節——世界に誇る伝統食」

5. 単元目標

- ・文章の構成に注意し、本文を要約する。
- ・筆者の書き方の工夫に気づく。

6. 単元について

○生徒観

本学級の生徒たちは、全体的に明るく、授業中、活発に意見交換をする習慣は身につけている。しかし、自分で深く考えず、人任せになってしまう生徒も見受けられる。また、自分の思いついたことをすぐに発言してしまう傾向もある。そういったところに留意して、丁寧に指示していく必要がある集団である。

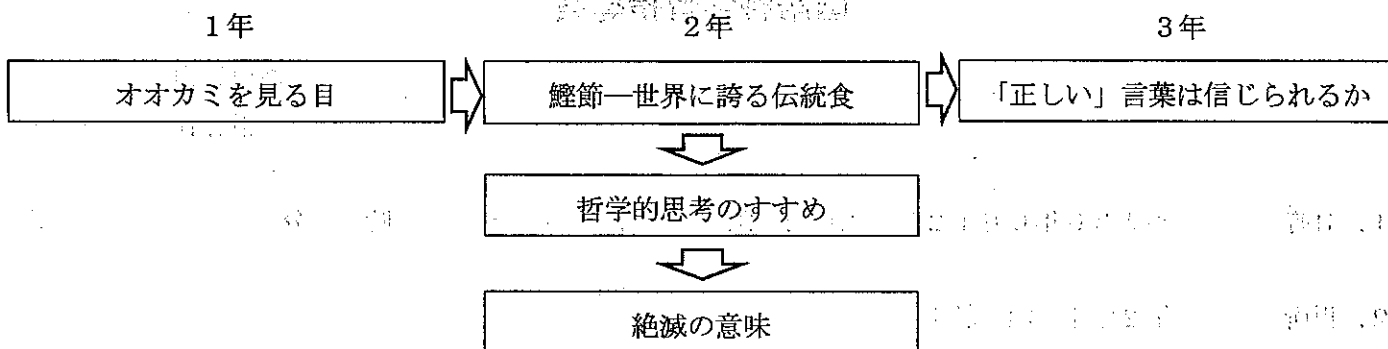
○教材観

本教材は、日本の食文化の代表として「鯉節」を取り上げ、その硬さや製法、保存食品としてのすばらしさ、食べ物として優れている点、そしてそれを誇りに思い、伝承する使命などについて、3つの大きなまとまりを通して書かれている。文章全体を通して、接続詞や比喻を効果的に使用しており、筆者の書き方や表現の工夫を見つけさせるのに適した文章である。また、筆者の独特な表現には、読み手の興味を喚起し、読み手を鯉節の世界へと引き込んでいく力がある。筆者の書き方の工夫を捉え、今後の「書く」学習にも生かしていけるとよい。

○指導観

指導にあたっては、文章の構成や展開を捉えたうえで、筆者の主張を読みとり、要約するという学習活動を行う。本教材を要約するにあたって、初めに教師が作成した文章を使用し、要約することへの関心を持たせたい。要約するといってもどうすればよいかわからないという生徒が多いと予想される中で、制限された時間の中で文章の内容を紹介するという方法を取り、実際に発表させることで、要約することへの楽しさや難しさを実感させるようにする。要約した文章を発表し合う場面では、普段あまり関わらないクラスメイトとペアになることで、新たな関わりを持たせたい。文章を意味段落に分ける際は、話題や内容がどこで変わっているかに注目させる。また、筆者の工夫を見つけた後、なぜそんな工夫をしているのかということについても着目させる。筆者が、様々な工夫をして読みやすい文章にしているということに気づかせることで、日常生活において何かを伝える際は、相手を思って伝えなくてはならないといったことを学ばせたい。

7. 単元の系統性



8. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> 要約するという事について興味をもって取り組んでいる。 最適な要約の方法について話し合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張を読み取ることができる。 筆者の書き方や表現の工夫に気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> わからない単語について、予想したり、説明したりできる。 接続詞の役割を理解できる。

9. 単元の指導計画

次	時間	学習目標	◇主な学習活動 ◆指導上の留意点	評価規準
第1次	1	・教師の作成した文章を要約し、要約の楽しさや難しさを感じる。	◇教師の作成した文章を要約し、発表する。 ◇本文を音読する。 ◇語句の確認をする。 ◆教師の作成した文章を要約してすることで、要約することに関心を持たせる。	【関】 要約することに関心を持って取り組んでいる。 【読】 段落ごとの筆者の主張を読みとる。
	2	・接続詞やキーワードに注目して、意味段落に分けることができる。	◇接続詞に注目する。 ◇意味段落1におけるキーワードを見つける。 ◇意味段落に分ける。 ◆接続詞の役割に注目させる。	【読】 筆者の主張を読みとり、意味段落に分けることができている。 【言】 接続詞の役割に注目している。
第2次	3	・意味段落2を要約し、筆者の書き方や表現の工夫を見つける。	◇意味段落2を要約する。 ◇筆者の工夫について考える。 ◆たくさんの工夫があることに気づかせる。	【関】 クラスメイトの発表に興味を持って聞いている。 【読】 筆者の書き方や表現の工夫について、気づいたことを挙げていく。

10. めあて

- ・意味段落②を要約し、発表し合うことができる。
- ・筆者の表現や書き方の工夫に気づくことができる。

11 本時の展開(3/3時間目)

過程	時	学習活動	*指導上の留意点	評価規準
導入	0	○前時を振り返る。	「意味段落をもう一度確認してみましょう。」	【関】本時の学習に興味を持っている。
	5	○めあてを確認する。	意味段落の②を要約する。 筆者の工夫を見つける。	
	7	○学習の流れを知る。	「意味段落②を30秒に要約します。そのために、まず重要な部分に線を引きます。」 *教師の作成した文章を使用し、要約したことを思い出させる。	
展開	10	○意味段落②の最初の文に注目し、線を引く。	*p64013「食べ物として優れていること」、p6501「もう一つ驚くべきこと」に注目させ、それが何なのかを考えながら聞くようにさせる。	【読】内容を捉え、線を引くことができる。 【関】興味を持って発表を聞いている。 【読】筆者の工夫を見つけることができる。
	13	○音読を聞きながら、重要な部分に線を引く。	「音読を聞きながら、重要な部分に線を引きましょう。」 *机間指導を行い、線を引かせるようにする。 *線を引けていない生徒が多ければ、線を引く時間を与える。	
	20	○線を引いた部分を繋げて文章にし、発表し合う。	*うまくできていた生徒には、前で発表させる。 *早口で話すことではなく、簡潔に話すことが必要であると伝える。 *教師が作成した、模範の文章を示す。	
	35	○筆者の書き方や表現の工夫を見つける。	「問いかけになっている文を4つ探しましょう。」 ・p6021「世界一硬い食べ物は何だと思われるでしょう。」 ・p6106「……乾燥させることができるのでしょうか。」 ・p63012「……どんな意味があるのでしょうか。」 ・p6503「あの脂はどこへ消えたのでしょうか。」 *問いかけの形にすることで、読み手の興味を引くことができるということに気づかせる。 *ほかにも、段落の最初に使用された接続詞や、誇張した表現、挿絵を用いていることに注目させる。	
まとめ	48	○まとめ	「筆者は、様々な工夫をすることで、鱈節というものをわかりやすく説明しています。」 「人に何かを伝える時は、要約してまとめて伝えたり、工夫をしてわかりやすく伝えたりしましょう。」 *時間があれば授業の感想を書かせる。	【関】学んだことを日常生活に活かそうとしている。

12. 板書計画

鯉節―世界に誇る伝統食

小泉武夫

めあて

意味段落②を要約する。
筆者の工夫を見つける。

- | | | |
|----------|-------------|-----|
| ① | ② | ③ |
| ①～⑫ | ⑬～⑮ | ⑯～⑰ |
| 鯉節⇨乾燥⇩保存 | 食べ物として優れている | まとめ |

筆者の工夫

・ 問いかけの文

・ 接続詞

・ 挿絵

・ 誇張した表現(偉大なる知恵、知恵の結晶等)



要約してまとめて伝える
工夫をしてわかりやすく伝える